



2010年9月1日発行
 発行人：河野 忠友
 発行所：〒650-0024 神戸市中央区
 海岸通8神港ビルヂング509
 TEL：078-393-0050
 FAX：078-393-0051
 E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
 URL：<http://www.kobekeio.org/>
 編集：手塚 祥平・齋藤 洋邦

～6月例会レポート

「福澤諭吉と関西」～

宮田 沙織 (平16法)



6月17日午後6時30分より神港ビルヂング1階会議室にて、慶応義塾福澤研究センターの専任講師、都倉武之氏(平14法)をお招きし、6月例会が開催されました(出席者36名)。

講演タイトルは「福澤諭吉と関西」であり、実は同じ内容で1月に講演をお願いしていましたが、当日新幹線運転見合わせの影響により都倉さんが来られなくなり、今回仕切り直しのご登場となりました。

倶楽部ルームから椅子を追加で持ってくるほどの盛況のなか、都倉さんには、「実践家」としての福澤先生の生き方について、またその拠り所となっていた「独立」という考え方の意味するところ、そしてどのように実践していったかといったお話をしていただきました。私自身は、都倉さんが挙げられた人名の半分も分からないほどの不真面目な塾員なので、福澤先生とその門下生たちの活躍の場として関西がとても重要だったことを改めて感じ、興味深く思いました。

〈都倉講師ご講演〉

○一般的に福澤先生は「思想家」として位置づけられるが、「実践家」、すなわち人々の模範となるように自ら行動した人である。その啓蒙活動の流れを受け継ぐのは三田会や慶應倶楽部であり、今も活況の関西各倶楽部は特に重要である。

○「独立」(※「独立自尊」は福澤の死に際し弟子たちが造ったことば。福澤先生自身は単に「独立」と言っていた、とのこと。)とは、



個人に焦点を当てたもので、「文明」は社会全体が発達し精神の底上げを実現することである。

○福澤家は、漢学者として大阪で活躍した父百助の急死の後、中津に移ったが、家族ともどもその地に馴染めなかった。先生の道徳的支柱は大阪の自由闊達で合理的な空気であり、適塾で身につけた「実学」の精神である。

○和歌山藩の洋楽奨励政策により多くの若者が福澤先生に師事、後の義塾において大きな役割を果たす。また、明治初期に3つあった分校は成功しなかったものの、門下生が地域の公立学校に深く関わり、教育水準の底上げに貢献した。神戸においては星陵高校の前身の神戸商業講習所が一例である。

○「独立」の意味も発展する。すなわち精神の独立から経済的独立へと移り、「尚商立国」(商いを尊ぶ国づくり)が掲げられ、経済界に名立たる人物が輩出されてきた。一部の金持ちにぶら下がるのではなく、自ら各業界を切り拓いていった人物ばかりである。

○福澤先生の理論に一貫性がないところかもしれないが、華族であっても見所のあると思われた人物とは広く付き合い、共に行動した。神戸においては旧三田藩を抜きにしては語れず、旧藩主九鬼隆義を中心とした輸入商社、不動産投機等の諸事業は、街の発展に大きく貢献した。また、白洲退蔵が持ち込んだ聖書により旧三田藩で広まったキリスト教は、神戸女学院という形となり、さらに彼らは、赤心社という名で北海道開拓団にも加わった。



～サマーパーティーレポート～

[名司会者&新オークションシステム誕生]

鳥巢 慶太 (平12工)

佐井会長の福澤先生と関西合同三田会のお話によりしめやかにスタートしました (46名出席)。



司会進行は赤羽幹事。低音の洪い声とジョークを散りばめた小気味よいトークと淀みない進行。まるで草野仁さんを彷彿とさせる司会によって、サマーパーティーは進んでいきます。

アサヒビール株式会社神戸支社長である高橋様より頂いたアサヒスーパードライが注がれたグラスを皆片手に持ち、福井副会長の乾杯により、いよいよ本番です。

牛肉やラムの骨付き肉、お寿司、マリネ、サラダなどなど、色とりどりのホテルオークラの豪華な料理が並び、部屋中をおいしい香りが包む中、各テーブルからは皆さんの笑顔と和気藹々の会話が聞こえ、神戸銀行倶楽部の一室は慶應一色に染まりました。

そして、今回から新オークションシステムが導入されました。浦上夫妻、特に奥様のご負担が大きいこともあり (笑)、目玉商品以外については、テーブルの上に展示された様々な商品に各自入札額を記入し、最高金額を入札した方が落札者となります。目玉商品については、この日のために新調した爽やかなラベンダー色のジャケットに身を包んだ浦上さんと、いつまでもお綺麗な奥様との



軽快なやりとりにより進められる恒例のオークション。商品は、焼酎マニアに大人気の「100年の孤独」から、シャネルとヴィトンのアロマキャンドル、阪神戦のチケット、そして恒例の神戸ポートピアホテルのプール&ディナー付きスイートルームペア宿泊券です。なんと、この大変セレブな神戸ポートピアホテルスイートを平成19年卒桜井君が落札しました。なんとも頼もしい限りです。この若い力で、これからの神戸慶應倶楽部も安泰です。なお、新オークションシステムの導入で、例年にも増して一層盛り上がりのあるオークションとなりました。

最後に、阪本副会長の「全員が主役であり、その意識をもって皆で神



戸慶應倶楽部を盛り上げていこう！」という言葉に胸に、若き血を大合唱。サマーパーティーは大盛況のまま終了しました。

なお、今回のオークションでの売上は223,000円となりました。ご協力いただきましたみなさま、誠にありがとうございました。



～福澤諭吉先生生誕175周年 記念式典レポート～

河野 忠友 (平1商)

去る平成22年7月16日、大阪のホテル阪急インターナショナルに於いて、慶應義塾主催による福澤先生生誕175周年記念式典が盛大に挙行されました。

まず清家篤塾長よりとても柔らかく温かいお人柄を感じさせるご挨拶から始まり、当地大阪を代表され森下大阪市副市長、「福澤諭吉先生生誕の地

記念碑」を守り続けてこられた朝日放送株式会社の代表取締役専務和田氏、福澤家ご代表の福澤武慶應義塾評議員会議議長よりお祝辞及びご挨拶がありました。

引続き、服部禮次郎連合三田会会長のご挨拶から第2部が始まり、記念講演がありました。お一人目は当地大阪より大阪大学総長の鷺田精一先生、お二人目は慶應義塾大学経済学部長小室正紀先生のご登壇されました。

鷺田先生は「私立ということ」と題したご講演の中で、福澤諭吉先生が中津より再度出生の地大阪に戻り緒方洪庵先生の適塾に学ばれたことを引き合いに出されました。そして慶應義塾の原点は後の大阪大学となる適塾であったとの大変面白いお話により参列者を惹きつけておられました。一方小室先生からは「尚商論と独立自尊-福澤諭吉における実業論の行方」と題し、福澤先生が門下生に宛てた書簡から導かれる数々の教訓について興味深いご講演をいただきました。あっという間に2時間半が過ぎ、大阪慶應倶楽部銭高一善会長のご挨拶により締めくくりとなりました。

この記念式典ですが、半世紀ごとに大阪にて挙行されているそうです。今回は私が生を受ける以前でありましたし、次回となると自信がありません。そういった意味でも塾員で良かったと思える素晴らしい式典に参列させていただいたことに感激しております。

末筆で恐縮ですが主催者である慶應義塾の皆様、完璧な準備をなさった大阪慶應倶楽部の皆様に当誌面をお借りして心より御礼申し上げます。

～関西合同三田会実行委員会報告～

齋藤 洋邦 (平12商)

7月30日、北野にある神戸北野迎賓館レイン邸にて平成23年関西合同三田会実行委員会のキックオフミーティングが行われました。

佐井会長を筆頭とした実行委員会メンバー24名が集まり、神戸主催の関西合同三田会大成功に向けて意識を高めあいました。

実行委員会は懇親会担当(木村健委員長)・式典担当(土井正孝委員長)・渉外担当(村尾憲一郎委員長)の3つのチームに分かれ、前回神戸幹事のご経験のある徳丸さんを実行委員長として活動しております。ありきたりではなく、神戸らしさをあらゆるところにちりばめ、主催する側も含めたすべての参加者が楽しめる会にしようと、参加者全員で意見を交換しました。

また、阪本副会長からは「発想の種」として、トイレトーパー文庫のご紹介がありました。リングでおなじみの鈴木光司氏がこのために書き

下ろした作品。実際にトイレで読んでみたところ、普段からホラーものが得意ではない私は、背筋がぞっとして便意どころでは無くなってしまったため、今は棚の奥の方にしてあります。

この話はさておき、今後とも打合せを重ね最高の関西合同三田会となるよう委員会メンバー一同取り組んでまいりますので、皆さんからのアイデアやご声援、お待ちしております！

会員だより

《四国お遍路道の中の石碑“独立自尊”》

(徳島慶應義塾跡)》

野田 敬二 (昭58経)



平成22年3月23日(火)、四国八十八ヶ所・第一番札所・霊山寺を無事参拝し、逆打ち(第八十八番札所から第一番札所に向けて逆回りで参拝すること)結願しました。逆打ちランニング距離1,500キロ、平成20年10月から1年6ヶ月に亘るつなぎ遍路・延べ日数31日、参拝した寺の数108ヶ寺(別格20ヶ寺を含む)、納めた写経用紙216枚(それぞれの寺の本堂と大師堂にそれぞれ1枚)、かかった費用約100万円でした。慎んでご報告申し上げます。

さて平成19年12月から9月までの順打ちの際には次の点につき“教育的指導”を受けたので、逆打ちでは十分に注意してお遍路を楽しむことができました。

- ① 順打ち第三十六番札所・青龍寺付近で、臨済宗の僧侶の方から“ランニングのみなら馬や犬にでも可能なスタンプラリーにすぎない。写経用紙を納めたらどうか?”と写経をすすめられ、順打ち第三十九番札所・延光寺から第八十八番札所・大窪寺まで100枚納めました。順打ちでは発心から結願までのつなぎ遍路に延べ10ヶ月の期間を要したのに対し、逆打ちでは216枚の写経用紙の準備に時間を要し、延べ18ヶ月かかりました。
- ② 平成21年1月、神戸慶應倶楽部での小職の“お遍路”講演会の際、善塔先輩から“幼稚園児3人と奥さんを放り出してお遍路に出掛けて、奥さんは何も文句言わないのか?”と質問をいただきました。この話を家内にしたところ、家内も逆打ちの徳島県内二十三ヶ寺のみ参拝しました(阿波一國打ち)。

③ 警察官に4回の職務質問、明德義塾の教師に生徒指導を1回、高松市役所の節水呼びかける広報車に、“水の無駄使い”を注意されること1回、それぞれ“教育的指導”を受けました。逆打ちでは極力“節水”を心がけました。

順打ち1,300キロ・逆打ち1,500キロの最終局面で写真の“独立自尊”を徳島県議会の入り口付近でようやく発見しました。これまで“頭”で考えていた“独立自尊”とは全く異なった何かを会得した気分になりました。今回のお遍路で“足”で感じたこと、観たことは(仮称)四国ランニングお遍路～挑戦1,116キロウルトラマラソン～(今秋自費出版予定)にまとめて公表します。いま暫くお待ちください。

最後に、お遍路中に四国連合三田会の皆様には多大な激励とご接待を頂きました。紙面を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。



《新入会のご挨拶》

橋本 敦子 (平1文)

関西に転居して7年が過ぎました。平成元年に塾を卒業後は、株式会社リクルートに13年間勤務。現在は、六甲山や有馬へと抜ける芦有道路に面した、旅行会社+フラワーショップという少しかわった形態の店舗にて、ウェディング装花やフラワースクールを主たる業務としています。

大学の4年間は、ショカールスキークラブに在籍し、夏の間は、陸トレと冬の軍資金のためのアルバイトに明け暮れる毎日。冬は約40日間の山ごもりをおこないました。4年間で200日以上も生活を共にした同期の仲間は、血のつながらない兄弟と言ひ合うほどで、卒業して20年以上がたつ今も交際が続きます。この2月には、それぞれの家族も引き連れ、現役が合宿を続ける野沢温泉の民宿に集いました。真面目に練習に励むクラブでしたので、誘惑の多い学生時代には途中くじけそうになることもありました。このように生涯の宝となるような人間関係を育むものとは露とも想像せずでしたので、頑張ったなりのご褒美が人生にはあ

るなど、野沢温泉スキー場の頂上で記念写真を撮りながら思いました。

神戸慶應倶楽部には、昨年12月に入会いたしました。そのご縁も、神戸に転勤してこられたショカールの日向先輩のご紹介によるものです。現明石市長である同期の北口君は、見知らぬ土地に転居してきた私にとって、すぐ近くにいる、身内のように頼れる有難い存在です。大学進学するとき、「慶應は縦横つながりのとても強い学校だから」と勧めてくれた叔父がいたのですが、卒業して20年以上が過ぎ、ますます強く実感しています。神戸らしい場所で、年代を越えて元塾生たちが集う、和気藹々とした会合を毎回楽しんでおります。人と人とのつながりほど人生を豊かにしてくれるものはないと感じます。神戸の地で、大学時代の4年間に負けないほどに素晴らしい良き友人知人関係が築けるよう、これからも積極的に参加させていただきたいと思っております。末永くよろしくお願ひいたします。



同好会だより

イーゼル会

《今月の絵》



村田 修一 (昭39商)

《モチーフ当番》

「〇〇サン来月はモチーフ当番ですからよろしく」と云われて「ウヘー」と思ったイーゼル会

のメンバーも少なくないと思います。といっても大多数の読者の皆さんには「モチーフって何だ」という事かと思いますが・・・。

ここでいう「モチーフ」とは絵の題材の事です。絵に風景画、人物画、静物画等があるのはご案内の通りですが、我々が例会で描くのは殆んどが静物画です。例会は月2回ですから、風景画を描く春秋の写生会を除いても年に22回。毎年これだけ描いている訳ですから（誰です「それにしては下手クソだな」なんて云っている方は）、花、果物、野菜、魚、人形等々、頭を絞って持参するのですが、なかなかうまくいきません。「前にも描いたナー」「人形は難しいよ」「花の色が皆同じだね」なんて事になります。

そこでプロはどんな物を描いているのか見てみようとして美術館に出掛けてみたりもしたのですが、改めて認識した事は、プロの静物画は実に沢山のモチーフを一度に描いていて我々が真似をした日には出来の上手、下手は別にしても描くだけで数ヶ月はかかりそうだと云った事で一向に役に立ちませんでした。

等グダグダ書いているのは実は私が今月のモチーフの当番に当たっている為でありまして、おまけに今回は考えていたモチーフの一つの「西瓜」を、次の当番の井上夫人に「西瓜は私が持って行くから駄目よ」とやられてしまい、目下「ウン」状態。どなたか「それなら人物画にして私を描いてみない」とおっしゃって頂ける女性会員はおられませんかねー。

イーゼル会世話人 天木 明

読書会

《神戸慶應倶楽部読書会 第11回》

第11回目の学問のすすめ読書会が7月21日(水)に行われました。参加者は、堀切、浅沼、藤井、古淵、六拝、左川、福野、阪本、野田、鈴木、宍戸、古武、池田の13名でした。最近好調の阪神タイガースのようにレギュラーの厚みがますます増しております。学問のすすめを紐解く第1部では堀切さんの学問のすすめの「抄」版に従って、第9編から第11編まで味わいました。

7月16日に大阪で行われた福沢先生生誕175年記念式典の直後でもあり、記念講演『「私立」ということ』の鷺田大阪大学総長のお話の肝であった「一国独立の主人」とダブリながら理解が進んだように思います。また六拝さんから小室正紀経済学部長の「福沢論吉は、経済や経済人に対し、時期によって3つのことを言っている」という講演も紹介され学問のすすめに新たな切り口から更に興味がわきました。更に堀切さんからは中西輝政京都大学教授の「大正デモ

クラシーの呪い、わが民族の病を直視し『改革の泥沼』から脱せよ」、御厨貴東京大学教授の「民主党政権の課題と展望」という最近の論調が紹介されました。このように読書会は「独立自尊」の人となるべくあたまの訓練を続けております。第2部では、池田さんから提供された大沢副会長醸造の銘酒『徳若』や復刻版の昔のアサヒビール、ワインを楽しみました。

今回は平成22年9月15日(水)18:30から、阪本豊起副会長の事務所(建隆ビルⅡ3階)で、「学問のすすめ」第12編から始めます。2部の飲み会の割り勘代3,000円と「学問のすすめ」(岩波文庫)を持って気軽においでください。会場は神戸慶應倶楽部のある神港ビル(旧居留地8番)の西隣(東京海上)の更に西隣(6番)の全面ガラスの建隆ビルⅡの3階です。商船三井ビルの東隣です。18:30以降は正面玄関が閉まるので地下通用口からお入りください。但し、お酒とさかなの準備がありますので、前回の出席者以外の方は阪本まで事前にご連絡頂ければ幸いです。

読書会世話役 阪本豊起

KKJC

《「サンセット77」記念ライブに寄せて》

3年程前にKKJCの一部のメンバーを含めた塾出身によるジャズバンドが結成されました。当時は、主なメンバーの年齢が66歳だったことから、バンド名を「ルート66」としておりましたが、年を重ねる毎にメンバーも増え、今では「サンセット77」と名前を変え、日頃から演奏活動を楽しんでいます。

去る7月25日の昼下がりに、三宮の「グレートブルー」で記念ライブがありました。メンバーは熟年組に若い女性も加わり、サンセットどころか、陽が昇る如くの勢いのあるすばらしい演奏と歌の数々でした。毎月練習を重ねているとのことで、ますます磨きがかかるものと期待しています。



＜サンセット77 メンバー＞

一宮弘忠(リーダーTP S39) 吉田碩(AS S39) 宮本節夫(CL S39)

宮本美代子(Vo) 長田庄太郎(TP S39) 辻秀治郎(TP) 垣屋高文(TS S39) 永山克彦(DM S50) 片岡紀夫(TB S) 小山田多江(AS)

★秋のジャズツアーのお誘い

KKJC では、毎年秋にゴルフと観光を兼ねた 1泊ジャズツアーを開催しています。本年も塾大先輩鍋島直昶さん(ビブラフォン)と美貌の才媛 小川理子さん(ピアノ・ボーカル)を招いて、浜松の夜を楽しみたいと思います。翌日は、ゴルフまたは観光を予定しております。神戸慶應倶楽部からは、浅沼・清水・杉本ご夫妻、塩谷・若杉・芦原さんなどがご参加されます

○スケジュール

11月27日(土)

午後浜松に集合して、夜ライブ鑑賞
浜松グランドホテル泊

11月28日(日)

ゴルフまたは観光 夕方浜松解散

○費用 25000円程度(2食付宿泊代・ライブ費・飲み代込み)

翌日のゴルフ、観光代は別です。

参加ご希望の方は、9月10日(金)までに近藤までご連絡ください。

KKJC 近藤 正

ludy007@kcc.zaq.ne.jp 携帯 090-8446-9382

ゴルフ同好会

《のじぎくチーム対抗戦

ゴルフ大会メンバー募集！！》

この度、神戸慶應倶楽部ゴルフ同好会幹事を拝命した野田敬二(昭和58年経済卒)です。私のホームコースは三木ゴルフ倶楽部で現在HC20です。おそらく神戸慶應倶楽部86年の歴史の中で最もHCが高い幹事ではないかと推測します。したがって、皆様にゴルフ技術指導は不可能ですが、練習ラウンドの機会にはできるだけ多く提供し、楽しくゴルフができればと考えています。

ここでゴルフ同好会幹事として“のじぎくチーム対抗戦ゴルフ大会”(平成23年6月)に神戸慶應倶楽部ゴルフ同好会チームがエントリーすることを提案します。チーム構成としては1チーム6名(内、兵庫県在住者3名以上含む)、レディース1名以上、シニア(55歳以上)1名以上含む。くわしくは兵庫県ゴルフ連盟のホームページをご覧ください。

過去、神戸慶應倶楽部でのじぎくチーム対抗戦にエントリーした例はないそうです。とりあえず、今秋の金曜日の数日、練習ラウンドを企画する予定です。平日、練習ラウンドに参加可能な方、神戸慶應倶楽部事務局までお知らせ下さい。後日、練習日・場所他詳細が決まり次第、ご連絡します。多数ご参加お待ちしております。

ゴルフ同好会世話人 野田 敬二

会員の輪

《モバイル情報端末と無線通信》

村尾 憲一郎(昭58商)

久しぶりにタスキが回ってきた。さて何を書こうか?と迷ったが、世話役であった市川義人会員の退会により、かつて関わっていたパソコン同好会が、休眠状態となって久しく、そんな趣味のひとつを話題にしてみよう。

会社でも自宅でもすべてのパソコンが、光回線を通じて有線・無線LANでつながっているのは当たり前で、自宅にいたっては、パソコン・プリンター・電話・テレビ・ビデオ・NAS(ネットワーク型HDD)・ゲーム機・携帯型オーディオなど、あらゆる情報端末が高速回線につながっていないと役に立たない有様である。

一方、自宅と会社以外の場所で、どうすれば快適なネット生活を過ごせるか考えているのだが、携帯電話は、万人向けの高機能ながら、電池容量が貧弱、回線速度が遅い、しょせん通話・メール・カメラが主目的ということで、高い端末価格に比してコストパフォーマンスがどうも良くない。最近流行のiPhoneやXperiaといったスマートフォンは、さまざまなアプリケーションソフトが搭載され、パソコンの機能を携帯電話へ取り入れた点では、名前通りスマートであるが、小型ゆえ画面が狭く、電池容量と回線速度のボトルネックは、そのままである。(もちろん携帯電話からスマートフォンへの乗り換えの流れは、これからも変わることはないが)

そうなるモバイル情報端末の理想形は、通話機能は別にして、重量が軽い、画面が広い、電池が良く持つ、処理速度が速い、アプリケーションが豊富、高速回線が使えるに集約できそうである。話題のiPadは、Appleらしい斬新な製品だが、売れ筋の3G回線モデルを選択すると、まだSIMロックが解除されていないので、いやでもSoftbankの利用を強制される。安価なWi-Fiモデルを選択したいところだが、室内は良いが、室外では特別な場所でなければネットにつながらなくなる。

そこで、価格もリーズナブルで、回線速度が一番速そうなWiMAXのWi-Fiモバイルルータを注文して使ってみることにした。これならば、小型無線LANアクセスポイントを鞆やポケットに入れてどこへでも持ち運べるので、Wi-Fi対応であれば、場所や機器を問わず高速でつながるはず・・・?である。古今東西、趣味に無駄遣いはつきものだが、さて今回も無駄となるかどうか、機会があれば、使用感をレポートしてみたい。

《三田会と私》

小池 剛 (平1経)

平成元年経済卒、小池 剛と申します。本稿の原稿を書く機会をいただき、自分自身と三田会のことを書かせていただければと存じます。

小生と三田会との出会いは前職の住友不動産時代、33歳のとき岡山支店長の辞令を受け縁もゆかりもない岡山に赴任したことがきっかけです。支店といってもたった5人しかいない小さな拠点でしたが、責任者として何とか人のつながりを広げていきたいと考え、初めて大学の同窓会に出席しようと思いつきました。どこに連絡していいかわからず大学の事務局に電話をして「岡山県三田会」について教えていただきました。連絡すると今月(赴任した年の7月)に県三田会の総会があるから顔を出してみたら、と言われるままに出席したのが最初でした。岡山県の総会は毎年塾長が来賓でいらっしゃるような大きなもので若手にとってはたくさんの大先輩に囲まれて少し肩が凝る印象でしたが、「岡山ジュニア三田会」という40歳以下の三田会があるからそちらに出てみたらと、そのとき知り合った同期の新井 恵一朗君に誘われました。ジュニアは「楽しゅうやろうやあ(岡山弁)」という合言葉の下、毎月例会があり(ほとんどはただの飲み会ですが・・・)ほんとに楽しく皆さんと古くからの知己のようにお付き合いさせていただきました。当時まだ独身でしたので先述の新井君や前後の先輩後輩と毎晩のように集まり、馬鹿話やちょっとマシな話を夜が更けるまでやっていました。先輩方もよくおっしゃいますが、「慶應義塾は卒業してからそのありがたみ分かる」そのことを実感した数年間でした。実は今回「神戸慶應倶楽部」にお世話になることができたのも岡山時代面倒を見ていただいた城口 隆先輩のお誘いをいただいたからでした。

それぞれの三田会に伝統があり歴史があり、いいところがたくさんあるわけですが共通しているのは、入って見ないと分からない圧倒的な心地よさ、慶應義塾を卒業してみないと分からない、他にはないそのありがたさ、そして次世代にいい形で引き継いでいこうとする責任感ではないでしょうか。小生も微力ながら倶楽部の発展に寄与できればと思っておりますが、何はともあれ自分自身が楽しく参加させていただくことが何よりと思い、積極的に顔を出させていただければと存じます。

余談ですが、現在小生は生命保険の仕事をしております。福澤先生は日本に初めて生命保険を紹介した方で、生命保険を「人類の知性と品性の結晶」と表現されたと伺っています。このことに興味を持って文献などを当たってみたのですが、「西

洋事情」の中に保険に関する概説的な表現は見つけられたのですが、さらに詳しい表現を先生がどこかにされているのか、詳しい方がいらっしゃったら是非教えてください。



普段、会の行事に出席できない方、遠隔地の方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。

B R B 編集部 kobekeio@dream.ocn.ne.jp

～～今後の行事予定～～

9月 2日	9月例会	生田神社会館
9月 8日	慶早ゴルフコンペ	神戸ゴルフ倶楽部
9月 15日	建隆ビルII	KKC 読書会
10月 8日	例会	ポートピアホテル
10月 24日	連合三田会	日吉
11月 21日	関西合同三田会	大津プリンスホテル
12月 4日	クリスマスパーティー	神戸ポートピアホテル

～～9月例会のご案内～～

日時：2010年9月2日(木) 18:00より受付
場所：生田神社会館 3階「梅」
講師：塩屋 俊 氏 (映画監督兼俳優)
演題：「映画製作の舞台裏
～神戸ロケ敢行のふたたび」
会費：4,000円 (ご夕食・飲み物含)

～～慶早ゴルフコンペのお知らせ～～

秋の早慶ゴルフコンペが、下記の通り早稲田側主催により開催されますので御案内申し上げます。ご多忙とは存じますが、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。
日時：2010年9月8日(水) (詳細未定)
場所：神戸ゴルフ倶楽部
電話：078-891-0364
会費：未定 (前は8,000円)
コンペ終了後ロッジにてパーティーを致します。プレーフィーは各自でご精算ください。
参加登録の方は詳細判明次第ご連絡申し上げます。

～～10月例会のお知らせ～～

日時：2010年10月8日(金) 18:00より受付
場所：ポートピアホテル 菊水 (本館B1)
講師：田村次郎 (慶應義塾大学法学部教授)
演題：「交渉術」
会費：未定

編集後記

○夏の甲子園は、興南高校の沖縄県勢初の全国制覇で幕を閉じましたが、阪神は巨人と熾烈な首位争いを続けています。高校野球のようなハラドキドキと、左団扇で余裕の応援。皆様はどちらがお好みですか。(T)

○先日発表のあった気象庁の3カ月予報によると、まだまだ暑い日が続き、秋の到来が遅れるそうです。今年の夏、我が家では娘たちが海デビューを果たしました。秋は味覚狩りデビューを考えていますが、残暑の影響が心配されます。(洋)

～事務局よりお願い～

◆例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、必ず事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、当日のキャンセルにつきましては会費全額を頂きますのでご了承ください。

◆住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。

詳細はその都度お知らせいたしますので、毎月のメールマガジンでご確認ください。